



てぶる

NO. 15

とよはし市民会議

〒440-8501 TEL: 0532-51-2937
豊橋市今橋町1 [豊橋市役所] 7階
豊橋市議会内 発行責任者: 渡辺則子
E-mail: g-watana@mx2.tees.ne.jp

まちづくりにもっと女性の力を!

～豊橋市男女共同参画推進条例を活かして～

全国で着々と進むまちづくりを、視察・政務調査(資料①)を通して学び、議会で提案します。とよはし市民会議は、10年間の議会活動と市民協働を経て、生活に一番近い適正規模を「校区=まち」(資料②)ととらえてきました。地域子育て活動のNPO法人化検討、地域高齢者支援「食の環」づくり、生ごみ堆肥化と衣類減量作戦などを中心に、活動の柱を定め、行政との協働へと歩み出すところです。

嬉しいことに、豊橋市で今年4月施行された「豊橋市男女共同参画推進条例」により、これからのまちづくりに自信をもって取り組むことができるようになりました。9月議会では、この条例を活かしたまちづくりの諸課題について質問しました。

資料①: 平成16年度豊橋市議会予算…約6億6,400万円
<内訳…議員報酬61% 事務局職員費24%
視察調査費9% 事務費5%>
* 予算の割近くを占める調査費は、「視察調査費」2,781万円
(行政視察旅費×50人、7委員会調査旅費×108人、
海外派遣×11人)と「政務調査費補助金」3,311万円の
合計です。

資料②: 世帯数分布
～1,000戸 11校区 ～4,000戸 7校区
～2,000戸 15校区 ～5,000戸 4校区
～3,000戸 14校区 平均戸数 約2,000戸

1. 総代会 51校区442町のうち、女性町総代さんは10名ほど。(女性校区総代はゼロ。) 条例第7条市民活動団体の役割には、「方針の決定、計画の立案等において、男女が共に参画する機会を確保するよう努める」とあります。答弁では、積極的に女性の参画が進むよう講座などが計画されているとのことですから、大いに期待したいと思います。

2. 校区市民館 49校区市民館のうち、女性館長は2名のみ。運営委員長は全員男性で、校区総代さんとの兼任は39館。主事は全員女性で計103名。

▲公募の時代:

23地区市民館のうち2館で公募館長が就任し、好評のことです。市民館の役割が拡大するにつれ、校区市民館主事の公募も増えることでしょう。

とよはし市民会議の考え

▲いろいろ利用できる多機能校区市民館への脱皮:

会議、会合、学習、趣味の活動の場として、乳幼児から高齢者まで、いつでも、だれでも、使える仕組みがあって、初めて校区の公民館としての、市民館になると考えます。

- ・まちづくり: 自発的で自主的な市民活動が多く展開されるための配慮を。
- ・防災: 安心・安全ネットを具体的に進めるために、まち探検の試みを。
- ・障害児を含む児童・生徒: 放課後や休日に、いつでも利用できるように。
- ・乳幼児: 集いのひろばや子育てサロンが、午前中はいつでも開かれているように。

▲実現のために必要な市の支援: 午前中の専門職員の常駐を!

◆現在校区市民館勤務の主事さんは、校区市民館運営委員会が「公募」にて採用。勤務時間は午後1時～6時で、市の委託費(時間給800円+労災保険の雇用主分)で運営。

◆市民館運営委員会は、校区総代会の皆さんが担われるところが多く、献身的・誠心誠意の働きにより、今日までの豊橋の誇るべき市民館活動が進められてきました。その一方で、現代的な課題に即応するための主事研修が行なわれていても、運

営面における諸課題は増すばかりです。世は民間への流れが急ですが、豊橋では、校区単位で児童館や老人福祉施設が整っていない現状だからこそ、市民館は逆に行政責任の下で、体制を整えるべきと質問。→答弁「予算がない。」

→では、試算してみましょう。

全49館、朝9時～午後1時まで、同じ条件での勤務として、4,600万円が必要です。今年の予算書を開いてみますと、同額で行われる事業には、路面

電車周辺整備事業費、サイエンスクリエイト中小企業技術者研修事業費、美術施設管理事業費、ごみ収集車車両管理費、看護専門学校事業費、市長選・市議補選事務費などがあります。

◆「ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)」をベースに考えますと、まちづくりへの投資は必ず、住民の福祉拡大となって戻り、節税効果につながります。だから午前中、専門委員の常駐は有益な先行投資あると考えます。



3. 学校評議員制度:
開かれた学校づくりの一環として、地域の声を学校経営に生かすため、74小中学校で、今年から評議員制度が始まりました。

新年度の今年は、計87種の立場の皆さんが、校長先生の推薦で評議員として参加されています。行事や会議で、常に学校に出入りしている方々をはじめ、少年野球など地域スポーツ代表や保育園、学習塾、マスコミ、医療、法務関係の方が任命されている学校もあります。

多彩な立場の方を評議員として迎えている学校では、地域との連携密なることがわかります。校長先生が子どもたちの住む町へ出かけ、どんな人と会っているのかも、よくわかります。

校区にはさまざまな問題を抱え、教育について真剣に取り組んでいる人がいます。この制度を活用して、学校の特色を示すきっかけのひとつにしてくださいと声を大にして言いたいのです。地域との連携が叫ばれているなか、柔軟で、個性的な学校運営が、評議員の活用によりのように現れるか、今後も期待しています。ところであなたは近くの学校の学校評議員さんをご存知ですか?

資料③: 作成: とよはし市民会議

<<評議員の種別ベスト3>>
小・中学校ともにPTA・総代会・主任児童委員の順。

▲スクールボランティアや交通指導員の皆さんをはじめ、校区のさまざまな職種から選んでいる学校もあります。

<<評議員の男女比>>

▲男性ばかり→小・中2校づつ
▲女性が半分以上占めるのは、小学校5校のみで、中学校は0。
▲小・中学校とも女性が2～3割のところが多い状況です。

子どもの発達障害とは……



9月議会の答弁に最新情報を加えてお伝えします。

●昭和50年～60年代、乳幼児の地域子育てグループ活動のなかで発達の遅れの相談を受けると、私たちはことばの教室、障害児受け入れ保育園の紹介、名古屋の病院受診に同行するなどの活動を行ってきました。

●「アスペルガー症候群」について初めての質疑したのは、平成13年3月議会。その後、発達障害をテーマとする講演会が、市内でも頻繁に開かれるようになりました。どの会場も、超満員です。そこには、父母、保育士、教師を中心に、市民の皆さんの参加があり、子どもの発達障害への理解への熱意があふれています。

●また、集団保育や学校現場では、知的・ことばの遅れがなくても、発達の経過や行動の特異性に注目して正確な知識を持ち対応することが求められています。多動、言葉や学習の遅れ、人との関わり方の困難…などを理解するための情報が必要と必要です。

個性や成長のプロセスと見るのか、対応が必要なのか。手探りながらも、関心が高まることで、子ども理解が進むことを期待します。

(関連用語：ADHD、LD、高機能自閉症、広汎性発達障害)
(参考図書)「アスペルガー症候群と高機能自閉症の理解とサポート」杉山登志郎 編著(学研)

渡辺 則子 (無党派)
とよはし市民会議 代表
所属委員会：環境経済委員会
市政施行100周年記念事業調査特別委員会

●家庭生ごみ堆肥化●
衣装ケースは楽しいな。
仲間も増え、いよいよ堆肥小屋建設計画も具体化！
芋煮会のお知らせ
11月6日(土)10時～15時
東細谷町内にて。堆肥の袋詰、2次処理、1次処理用床材作りの3作業後のお楽しみ。
参加ご希望の方はお申し込み下さい。(実費要)⇒Tel0532-48-1203

Q1：困ったとき、相談はどこで？どんな施設や場所が市内にあるの？

答え：公的な場→母子保健センターの健診、つつじ教室(短期療育・母子保健センター隣)、電話相談、ワイワイすくすく広場(生活家庭館他)、くすのき学園(児童デイサービス)、にじの子相談室(教育会館)、児童発達援助センター岩崎学園、高山学園(措置児通所施設)、地域子育て支援センター(吉田方保育園、東山保育園)、児童・障害者相談センター(旧児相)、豊川養護学校たんぼぼ相談、豊橋市民病院(小児科、児童精神科)、豊橋市言語訓練(あいトピア)、小中学校特殊学級など。

親の会→ほがらか・ささゆりの会・つぼみの会・手をつなぐ親の会・療育センターをつくる会・すずめの会などが、ホームページでご覧いただけます。

Q2：保育園での障害児の受け入れと市の支援は？

答え：自閉症、発達遅滞、広汎性発達障害、ダウン症等の子どもさんを受け入れています。

- ◆民間21園が指定園：120人在園。
10人以上(2園)、9～5人(10園)、4～1人(9園)
- ◆公立4園が指定園：26人在園。
- ◆保育士の加配(補助金)は、障害児4人(肢体不自由児の場合は3人)に一人の保育士費用を市が負担(359万1千円/人/年)。

Q3：小中学校における本市独自の「障害のある児童・生徒への特別支援」2年目の取り組みは？

答え：主に身体障害を持つ児童・生徒支援のため、非常勤講師6人、介助者2人が、8小中学校に市費配置。

とよはし市民会議の考え：

●児童精神科での受診の待ち時間が数ヶ月先に及ぶ問題の解決策

豊橋市民病院では、診察室のスペース不足で、複数の医師による同時診療は困難。代案として、ある講演会で聞いたこと。市内の小児科医に患者を集中させる。医師は十分な経験を積むことで、児童精神科の医師に近い働きができるようになるというものです。すでにその兆しは市内では十分にあり、心強く思っています。

●療育センター建設計画へ、発達障害の子を持つ家族の意見が十分に反映されること

市内の療育・教育施設間のネットワーク、親、子ども、教師、地域の支援者への、的確な情報提供、子ども関連施設における「相談」体制の位置づけを明確に。「相談」段階で、問題の半分以上が解決することもあり、有能な相談員の確保が最重要課題です。

●豊橋の子どもに笑顔を！「子ども総合計画」を早急に！

「子ども課」設置の前に、まず、手を上げた(=ボランティア)、意欲的な職員を中心に、横断的な「子ども諸施設プロジェクトチーム」を作る。そこでは「療育センター」「子ども関連施設」「市内の子ども諸施設」を中心に、短期間に徹底議論する。会議の公開、会議録のネット公開、市民はネットで議論に参加する。チャレンジする職員にチャンス！現存の子ども諸計画を整理。とよはし市民会議の夢は、「とよはし笑顔の子ども総合計画」です。



行ってきました！

<福祉の街づくりフォーラム in 知多>9月25日(土)

愛知の福祉は知多から！と、この数年、知多通いが続いています。知多は、どのまちも熱い心を支える市民福祉の土壌が豊かです。豊橋の校区単位の取り組みを、知多から学びつつ、提案していきます。

★市主催 NPO 体験講座第1回(無料)★

松下典子さん(地域福祉サポートちた代表理事)のお話がカリオンビルで聞けます。是非、ご参加を。
10月31日(日)14時より (電話 56-5160)

<ふたつのでんりゅうへ> 9月27日から29日

- 静岡県天竜市熊「NPO 法人夢未来くんま」大平展子さんから、女性起業と村おこしの日々のとりにくみを。
- 長野県天龍村「ゆべしの里」では、関京子さんから、山の幸の事業化、みんなの幸せが第一の想いを聞きました。20年、30年も前からの地道な取り組みが、今、注目されています。ものづくりの本物は、本物の人づくりにつながることを実感。

<東松山市>10月2日(土)

首長が変われば福祉が変わる実例(長寿祝い金を止めて、子どもの教育費に活用、現場主義でゴミ収集に参加、補助金対象でないが、必要な福祉施設は市費で建設する等々)のまち・東松山へ。人口10万弱のまちの市民と市長の近さ。「福祉は明るく」の市長の方針が徹底しており、若い職員のきびきびした対応と、専門家としての働きぶりに眼を見張りました。

<お知らせ> 今夏の視察報告書「地なり、農なり、人なり。」をご希望の方にお届けします。電話：48-1203



ご相談いつでもどうぞ！

～ピンクの屋根の南栄ふれあいセンター～

TEL&FAX : 0532-48-1203
mail : watanabe@toyohashi-noriko.net
URL : http://www.toyohashi-noriko.net/
とよはし市民会議事務所内(渡辺則子)
〒441-8108 豊橋市町畑町森田38-72